



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1472 2025 年 11 月 4 日

ARIB からのお知らせ

ARIB 機関誌 No.130 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.130 を 10 月 31 日に発行しました。

本号では、当会の副会長による「巻頭言」を掲載しています。

「ARIB 活動報告」では、2025 年 7 月から 2025 年 9 月末までの活動報告を掲載しています。

ARIB 機関誌 No.130 掲載記事

【巻頭言】

- ・ 広がるワイヤレスの可能性と ARIB の役割

一般社団法人電波産業会 副会長 海老原 孝
(NTT 株式会社 常務執行役員 技術企画部門長 CIO Co-CAIO)

- ・ 電波産業の発展に向けた ARIB の貢献

一般社団法人電波産業会 副会長 寺田 健二
(日本放送協会 理事・技師長)

【 ARIB 活動報告 】

電波の利用に関する調査、研究及び開発

電波利用システムの調査研究

電波利用システムの研究開発

高度無線通信研究開発

電磁環境調査研究

コンサルティング及び普及啓発

標準規格の策定

委員会報告

ARIB 日誌

出版物一覧

事務局の現状

事務局だより



ARIB 機関誌電子版は、ARIB ホームページの「会員ページ」、「ARIB 機関誌」に掲載していますので、ご活用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに2件の英語翻訳版を公開しました。

【放送分野】

規格番号等		標準規格名等
BTA S-005	C1.1 版	1125/60 方式 HDTV ビット直列インタフェースにおける補助データの共通規格 標準規格
		Ancillary Data Packet and Space Formatting of Bit-serial Digital Interface for 1125/60 HDTV Systems ARIB STANDARD
BTA S-1002	1.1 版	HDTV 標準観視条件 技術資料
		(Standard Viewing Conditions for HDTV Pictures) ARIB Technical Report

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等に相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIB の動き

CEATEC2025「5G/6G スペシャルデーⅡ」の開催概要報告

CEATEC2025「5G/6G スペシャルデーⅡ」が10月15日（水）から10月16日（木）にかけて幕張メッセ国際会議場のコンベンションホール A において、総務省、XG モバイル推進フォーラム（XGMF）、一般社団法人電波産業会（ARIB）の共催により、オンライン併用にて開催されました。

6つのセッション構成により、1日目（Day 1）には、「5G/ローカル 5G の進化と展望」と題して、セッション1「5G の国内外状況と展望」、セッション2「5G/ローカル 5G による産業 DX の推進」、セッション3「ミリ波による 5G のさらなる発展」、2日目（Day 2）は、「5G 高度化、6G 最新状況と展望」と題して、セッション4「Beyond 5G(6G) Global trend」、セッション5「6G and AI」、セッション6「6G Strategy」が実施されました。

2日間を通じて延べ1,100名を超える会場参加があり、オンラインについても1,000名を超える視聴がありました。

アーカイブ配信は、後日XGMFウェブサイトにて実施予定です。(URL:<https://xgmf.jp/>)

【1. 内容】

●1日目 (Day 1) 2025年10月15日 (水) 「5G/ローカル 5G の進化と展望」

(1) 10:00～12:45 セッション1 講演「5Gの国内外状況と展望」

登壇者：湯本博信氏（総務省）、引馬章裕氏（株式会社NTTドコモ）、吉村和幸氏（KDDI株式会社）、佃英幸氏（ソフトバンク株式会社）、大坂亮二氏（楽天モバイル株式会社）、木内道男氏（日本電気株式会社）、水野晋吾氏（1FINITY株式会社）、上舞祐司氏（Sharing Design株式会社）

(2) 13:30～15:15 セッション2 講演「5G/ローカル 5G による産業 DX の推進」

登壇者：増山大史氏（NTT東日本株式会社）、坂本浩志氏（KDDIエンジニアリング株式会社）、西彰一氏（株式会社大林組）、飯田雅之氏（日鉄ソリューションズ株式会社）、渡辺誠氏（九州電力株式会社）、河野英士氏（広島ガス株式会社）、金納佑樹氏（NTTドコモビジネス株式会社）、小山俊泰氏（首都高速道路株式会社）、中村一城氏（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、中村光則氏（地域BWA推進協議会）、生田目瑛子氏（ノキアソリューションズ&ネットワーク合同会社）、劔持亨氏（京セラみらいエンビジョン株式会社）、竹澤寛氏（東京大学工学系研究科中尾研究室）、中村武宏氏（XGMF ODAIBA IX Core プロジェクトリーダー）

(3) 15:30～17:00 セッション3 講演「ミリ波による 5G のさらなる発展」

登壇者：城田雅一氏（クアルコムジャパン合同会社）、吉井大二郎氏（株式会社村田製作所）、加賀谷修氏（AGC株式会社）、宮田宏氏（住友電気工業株式会社）、井上義隆氏（KDDI株式会社）、塙英治氏（京セラ株式会社）、木原茉莉子氏（株式会社NTTドコモ）

●2日目 (Day 2) 2025年10月16日 (木) 「5G 高度化、6G 最新状況と展望」

(4) 10:00～12:35 セッション4 講演+パネル討論「Beyond 5G(6G) Global trend」

登壇者：布施田英生氏（総務省）、Rajesh Kumar Pathak氏（Bharat 6G Alliance）、LEE, Hyeon Woo氏（DanKook University, Korea）、Jaydee Griffith氏（ATIS）（オンライン講演）、Colin Willcock氏（6G-IA）、Tony Quek氏（SUTD）、中尾彰宏氏（XGMF共同代表、東京大学）、中村武宏氏（株式会社NTTドコモ）

※ATIS : the Alliance for Telecommunications Industry Solutions

6G-IA : The 6G Smart Networks and Services Industry Association (6G-IA)

SUTD : Singapore University of Technology and Design

(5) 13:30～15:15 セッション 5 講演+パネル討論「6G and AI」

登壇者：湧川隆次氏（ソフトバンク株式会社）、磯部慎一氏（株式会社 NTT ドコモ）、朽津 光広氏（楽天モバイル株式会社）、山本俊明氏（株式会社 KDDI 総合研究所）、野田真氏（エヌビディア合同会社）、中尾彰宏氏（XGMF 共同代表、東京大学）

(6) 15:30～17:00 セッション 6 講演+パネル討論「6G Strategy」

登壇者：中村武宏氏（株式会社 NTT ドコモ）、本多美雄氏（エリクソン・ジャパン株式会社）、鹿島毅氏（エリクソン・ジャパン株式会社）、山本俊明氏（株式会社 KDDI 総合研究所）、大槻知明氏（慶應義塾大学）、津田祐也氏（ソフトバンク株式会社）、磯部慎一氏（株式会社 NTT ドコモ）、實迫巖氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、井戸哲也氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、萩本和男氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、大塚恵理氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、中尾彰宏氏（XGMF 共同代表、東京大学）、徳田英幸氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、松井正幸氏（総務省）

【2. 開催概要】

●1 日目（Day 1）2025 年 10 月 15 日（水）「5G/ローカル 5G の進化と展望」

(1) 10:00～12:45 セッション 1 講演「5G の国内外状況と展望」

冒頭、総務省総合通信基盤局長の湯本博信氏からの共催者代表挨拶に続いて、総務省の取組についてご講演がありました。



総務省 湯本局長

次に 5G 導入状況と今後の展望に関して、国内キャリア 4 名の方からのご講演がありました。



NTT ドコモ 引馬氏



KDDI 吉村氏



ソフトバンク 佃氏



楽天モバイル 大坂氏

続いて、国内ベンダの海外含めた対応方針に関して 2 名の方からのご講演がありました。



日本電気 木内氏



1FINITY 水野氏

続いて、Sharing Design 株式会社の上舞祐司氏から、「インフラシェアリングの現在地と展望：国内外トレンドと日本モデル」のタイトルでご講演がありました。



Sharing Design 上舞氏

最後に、XGMF 共同代表の森川博之氏から、セッション 1 の閉会挨拶をいただきました。



森川 XGMF 共同代表

(2) 13:30～15:15 セッション2 講演「5G/ローカル 5G による産業 DX の推進」

冒頭、XGMF ODAIBA IX Core プロジェクトリーダーの中村武宏氏より、本セッションでは、5G/ローカル 5G の多くのユーザーにより、現場のリアルな導入事例と最新動向を紹介する旨の説明があり、続いて 13 名の方より、5G/ローカル 5G の普及拡大と導入事例のご講演がありました。



XGMF ODAIBA IX Core プロジェクトリーダー 中村氏



NTT 東日本 増山氏



KDDI エンジニアリング 坂本氏



大林組 西氏



日鉄ソリューションズ 飯田氏



九州電力 渡辺氏



広島ガス 河野氏



NTT ドコモビジネス 金納氏



首都高速道路 小山氏



鉄道総合技術研究所 中村氏



地域 BWA 推進協議会 中村氏



ノキアソリューションズ & ネットワーク 生田目氏



京セラみらいエンビジョン 剣持氏



東京大学工学系研究科 中尾研究室 竹澤氏



セッション2 「5G/ローカル 5G による産業 DX の推進」 講演者

(3) 15:30～17:00 セッション3 講演「ミリ波による 5G のさらなる発展」

冒頭、クアルコムジャパン合同会社の城田雅一氏より、本セッションでは、ミリ波の高い性能を活かすことで 5G がさらに発展できることを示し、普及拡大への道筋を探る旨の説明がありました。

続いて、XGMF のミリ波への取り組みとして、2つのプロジェクト活動に関するご講演がありました。



XGMF ODAIBA IX Core プロジェクト
サブリーダー 城田氏



XGMF 推し活×5G プロジェクト
リーダー 吉井氏

続いて、5名の方よりミリ波の最新状況に関するご講演がありました。



AGC 加賀谷氏



住友電気工業 宮田氏



KDDI 井上氏



京セラ 塙氏



NTT ドコモ 木原氏

●2日目 (Day 2) 2025年10月16日(木)「5G高度化、6G最新状況と展望」

(4) 10:00～12:35 セッション4 講演+パネル討論「Beyond 5G(6G) Global trend」

冒頭、総務省国際戦略局長の布施田英生氏から、Beyond 5Gの最新動向についてご講演がありました。



総務省 布施田局長

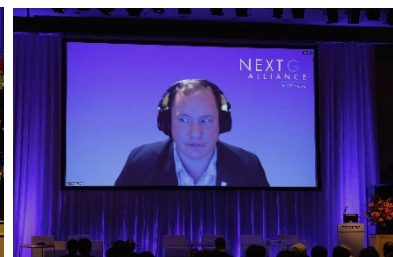
続いて、5名の方より海外のMoU締結団体の6G取組状況に関するご講演がありました。



Bharat 6G Alliance
Rajesh Kumar Pathak 氏



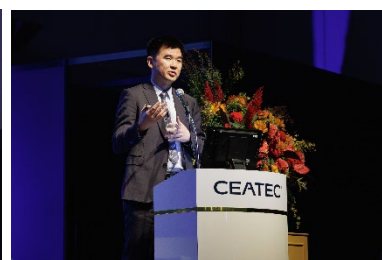
DanKook University, Korea
LEE, Hyeon Woo 氏



ATIS
Jaydee Griffith 氏

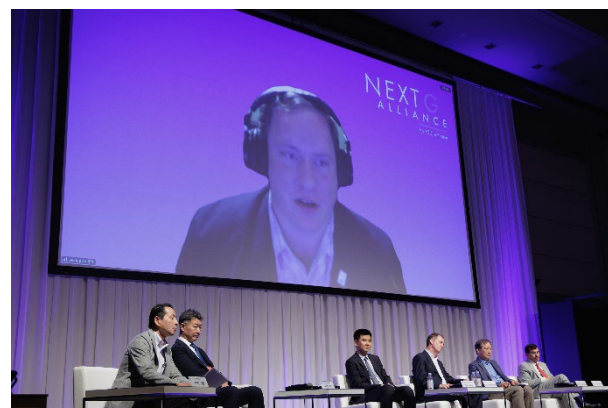


6G-IA
Colin Willcock 氏



SUTD
Tony Quek 氏

続いて、モデレータに中村武宏氏を迎え、パネリストとして、MoU締結団体の講演者に中尾彰宏氏を加え、Beyond 5G(6G)の国際的な研究開発や標準化に向けた動きが本格化する中、各国・各地域における動向と予測、日本の役割・期待について、パネル討論が行われました。



パネル討論の様子

左から中村氏、中尾氏、Quek氏、Willcock氏、LEE氏、Pathak氏、【オンライン】Griffith氏

最後に、XGMF 共同代表の中尾彰宏氏から、セッション 4 の閉会挨拶をいただきました。



中尾 XGMF 共同代表

(5) 13:30～15:15 セッション 5 講演+パネル討論「6G and AI」

本セッションでは、6G の設計・最適化における AI の活用、ネットワークの自律制御、サービスの高度化に向けた最新動向について、6 名の方よりご講演がありました。



ソフトバンク 湧川氏



NTT ドコモ 磯部氏



楽天モバイル 朽津氏



KDDI 総合研究所 山本氏



エヌビディア 野田氏



東京大学 中尾氏

講演ののち、中尾彰宏氏のモデレートにて、「【通信×AI】がもたらすビジネスの可能性」と題して、国内キャリアと AI 半導体ベンダの技術とビジネス、実用化技術、戦略や協業などについて、講演者 5 名によるパネル討論が行われました。



パネル討論の様子

左から、中尾氏、野田氏、山本氏、朽津氏、磯部氏、湧川氏

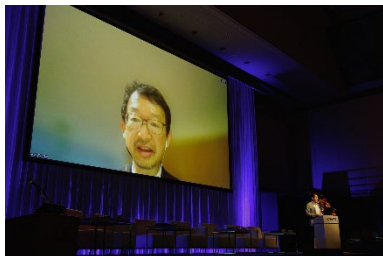
(6) 15:30～17:00 セッション 6 講演+パネル討論「6G Strategy」

冒頭、司会の NTT ドコモ 中村氏より、本セッションでは、6G の標準化や開発にかかわる様々な動向・取組・戦略について、講演・討議する旨の紹介がありました。



NTT ドコモ 中村氏

続いて、8 名の方より、XGMF における 6G 関連の取組概要について、ご講演がありました。



エリクソン・ジャパン本多氏 エリクソン・ジャパン鹿島氏



KDDI 総合研究所 山本氏



慶應義塾大学 大槻氏



ソフトバンク 津田氏



NTT ドコモ 磯部氏



NICT 寶迫氏



NICT 井戸氏

続いて、国立研究開発法人情報通信研究機構の萩本和男氏、大塚恵理氏から、総務省のBeyond5G 基金の進展について、ご講演をいただきました。



NICT 萩本氏



NICT 大塚氏

講演ののち、司会の中村武宏氏をモデレータとして、国立研究開発法人情報通信研究機構の徳田氏および総務省の松井氏をはじめ、産学官から 6 名の登壇者を迎えて、6G 戦略に関するパネル討議が行われました。



パネル討論の様子

左から、中村氏、中尾氏、大槻氏、徳田氏、松井氏、大塚氏、鹿島氏

最後に、XGMF 事務局長の西岡誠治氏より、全ての関係者への謝辞とともに、XG モバイル推進フォーラム（XGMF）にとっても本イベントにより 5G・6G 技術の今後の発展に向けた多くの示唆が得られ、今後の国際連携に向け引き続きのご支援とご協力をお願いしたい旨の閉会挨拶がありました。



XGMF 西岡氏

CEATEC 2025 に出展

『CEATEC 2025』が、幕張メッセで10月14日(火)から17日(金)までの4日間で開催されました。また、CEATECの公式Webサイトでは10月1日(日)から31日(火)まで、オンライン配信が行われました。

今年のCEATECは、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society 5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」を開催趣旨として、810社/団体(去年は808社/団体)が出展しました。

幕張メッセ会場4日間の会期中に98,884名(去年は112,014名)が来場、企業や官公庁、研究機関の方々をはじめ、各地の中・高校生や大学生など、幅広い世代の来場者で会場はにぎわいました。

ARIBでは、今年も同展示会に協力団体として協力するとともに、幕張メッセ及びWebサイトにて、電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の当会の事業活動を紹介しました。また、来場者の電波の有効利用に対する関心や理解を深めるべく、電波功績賞*を受賞された技術やシステムの紹介も実施しました。

※電波功績賞：

電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及びARIB会長表彰として、毎年表彰しているもの。

CEATEC 2025 幕張メッセ会場登録来場者数とARIBブースでのアンケート実施者数 (人)

	10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)	合 計
幕張メッセ会場 登録来場者数	20,474	23,433	24,601	30,376	98,884
ARIB ブース アンケート実施者数	68	96	110	210	484* ¹

*1：2024年は372人

CEATEC 2025 公式Webサイト ARIB 来場者数(10/1～10/31)

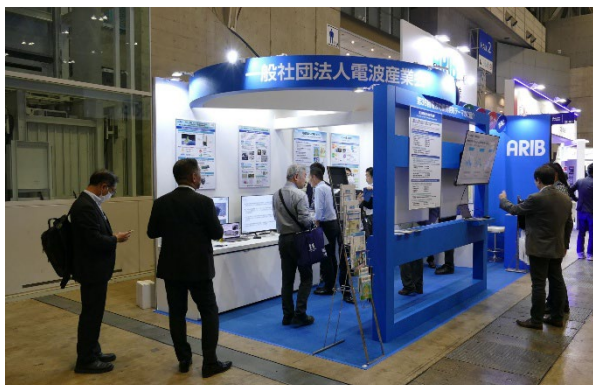
	合 計
ARIB サイト 来場者数	382* ²

*2：2024年は301人

＊幕張メッセ ARIB ブース



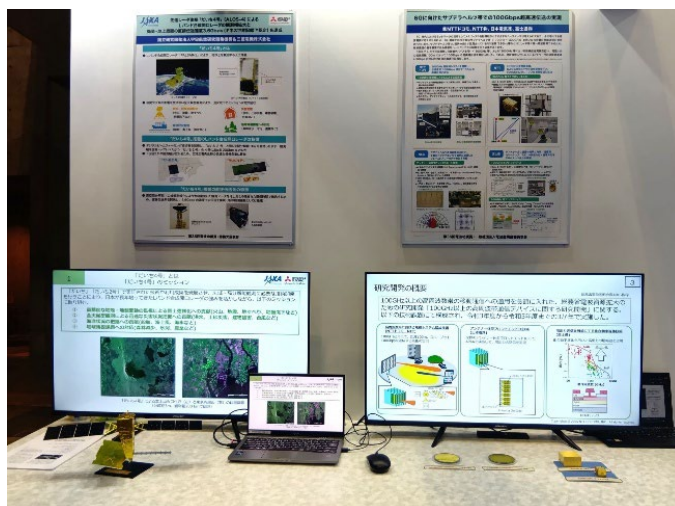
ARIB ブース外観①



ARIB ブース外観②



電波功績賞(スライドショー)



電波功績賞（デモ展示）

(注)

- ・ 右：「6Gに向けたサブテラヘルツ帯での100Gbps 超高速伝送の実現」

株式会社 NTT ドコモ様（代表窓口）

- ・ 左：「先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)によるLバンド合成開口レーダの観測幅拡大と衛星・地上局間の直接伝送速度3.6Gbps（ギネス世界記録TM認定）を達成」 三菱電機株式会社様（代表窓口）

＊公式 Web サイト（ARIB サイト）



第 125 回規格会議の結果

10 月 30 日(木)に、第 125 回規格会議がイイノカンファレンスセンターにおいて開催されました。今回は標準規格の策定 1 件、改定 5 件及び技術資料の策定 1 件、改定 5 件が提案通り決議されました。



第 125 回 規格会議の様様

本規格会議において決議された策定、改定の概要は、以下のとおりです。

第 125 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定、改定の概要（議案順）

No.	規格等番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T124 1.0 版	特定小電力無線局 433MHz 帯タイヤ空気圧モニタリングシステム及び キーレスエントリシステム用無線設備 標準規格	本標準規格は、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 2 号(14)に規定されるタイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) 及びキーレスエントリシステム (RKE) であって、433.795MHz を超え 434.045MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備について規定するものです。 TPMS は、ホイール内に実装されたセンサ・送信機と車体側のレシーバとで構成され、タイヤに取り付けられたセンサは、一定の間隔毎に、極めて短時間の通信を行います。 RKE は、携帯機（リモコン）と車体側のレシーバとで構成され、利用者がリモコンを手動で操作（ボタン押下等）することで、極めて短時間の通信により、必要な情報の送信を行います。 TPMS/RKE は、国内において 315MHz 帯の特定小電力無線局として制度が整備されています。 一方、米国や EU、韓国など、日本を除く世界各国においては、315MHz 帯ではなく、433MHz 帯を用いたシステムが主に使用されています。 433MHz 帯を用いた同一仕様のモデルを全世界的に採用する動きが進んでおり、海外メーカーを中心に、国内でも、既に諸外国で流通している 433MHz 帯 TPMS/RKE をそのまま使用したいという強いニーズが存在しています。 本標準規格は、上記のニーズに対応した制度整備を踏まえ、新たに策定するものです。
2	ARIB STD-T122 1.1 版	ITS マルチメディアサポートレイヤ 標準規格	本標準規格は、ITS 情報通信システムにおける通信プロトコルに関するもので、様々なアプリケーション・無線通信端末を収容可能とする、ITS マルチメディアサポートレイヤの技術仕様を規定したものです。 今回の改定は、ITS マルチメディアサポートレイヤに係るアドレスサイズの明確化等を図るため、所要の改定を行うものです。

No.	規格等番号	規格名等	概要
3	ARIB STD-T120 Ver.4.30	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものです。 今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB STD-T120 Ver.4.20）に対し、リリース 8 からリリース 18 までの範囲のうち 3GPP が 2025 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。
4	ARIB TR-T23 Ver.4.30	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	本技術資料は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものです。 今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB TR-T23 Ver.4.20）に対し、リリース 8 からリリース 18 までの範囲のうち 3GPP が 2025 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。
5	ARIB STD- T120 Ver.4.40	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものです。 今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB STD-T120 Ver.4.30）に対し、リリース 8 からリリース 18 までの範囲のうち 3GPP が 2025 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。

No.	規格等番号	規格名等	概要
6	ARIB TR-T23 Ver.4.40	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	本技術資料は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものです。 今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB TR-T23 Ver.4.30）に対し、リリース 8 からリリース 18 までの範囲のうち 3GPP が 2025 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。
7	ARIB STD-B21 5.13 版	デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様） 標準規格	本標準規格は、BS デジタル放送、広帯域 CS デジタル放送及び地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式によるデジタル放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能など望ましい仕様を規定しています。 今回の改定は、本標準規格の参照先である ARIB STD-B25「デジタル放送におけるアクセス制御方式 標準規格」7.0 版が承認されたことに伴い、本標準規格においても CAS チップ、CAS カードなどの名称の定義の追加及びそれらの定義に伴う記載の追加や変更などを行うものです。
8	ARIB STD-B31 2.3 版	地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格	本標準規格は、地上基幹放送局（移動受信用地上基幹放送を行うものを除く。）を用いて行う標準テレビジョン放送、高精細度テレビジョン放送に関し伝送方式を規定しています。 今回の改定は、STD-B79「ISDB-T2 及び ISDB-T1.5 による高度地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格」の策定に伴い、関連する用語の追加及び省令等の改正に伴う修正などを行うものです。
9	ARIB TR-B47 1.0 版	映像・音声・データ個別ストリーム形式による番組制作用 IP インタフェース規格に関する適合性テストの解説技術資料	本技術資料は、番組制作用 IP インタフェースの伝送規格である ARIB STD-B76 やそのベースとなった SMPTE ST 2110、及び同制御規格である AMWANMOS（ARIB TR-B46 で内容を解説）に基づいたシステムや機器について、それらの規格への適合性をテストする際のテスト手法や合格基準などの参考情報を提供するために、新たに策定するものです。

No.	規格等番号	規格名等	概要
10	ARIB TR-B14 6.12 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定 技術資料	本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式による高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものです。 今回の改定は、クラウド対応受信機（放送番組のクラウド録画、視聴等に対応した受信機の導入に向けた規定を追加するものです。
11	ARIB TR-B15 8.8 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定 技術資料	本技術資料は、BS/広帯域 CS デジタル放送の伝送方式による高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものです。 今回の改定は、クラウド対応受信機（放送番組のクラウド録画、視聴等に対応した受信機）の導入に向けた規定の追加及び放送事業者の変更に伴い各種一覧を更新するものです。
12	ARIB TR-B39 2.11 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定 技術資料	本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものです。 今回の改定は、クラウド対応受信機（放送番組のクラウド録画、視聴等に対応した受信機）の導入に向けた規定の追加及び放送事業者のサービス終了に伴い各種一覧を更新するものです。

ARIB 内会合（11 月 3 日～11 月 7 日）予定

- 11 月 5 日（水）： デジタル放送システム開発部会 地上放送高度化方式検討 TG
Web 会議併用
- 11 月 6 日（木）： スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班
Web 会議併用

国際会合（11 月 3 日～11 月 7 日）予定

- 11 月 4 日（火）～11 月 6 日（木）： 第 19 回日中韓情報通信標準化会議(CJK-19)
(韓国・ソウル)

総務省などからのお知らせ

第二号基礎的電気通信役務に係る第二種交付金の額及び交付方法の認可並びに第二種負担金の額及び徴収方法の認可に対する意見募集 【令和 7 年 10 月 28 日発表】

情報通信行政・郵政行政審議会（会長：相田 仁 東京大学特命教授）は、本日、総務大臣から「第二号基礎的電気通信役務に係る第二種交付金の額及び交付方法の認可並びに第二種負担金の額及び徴収方法の認可」について諮問を受けました。

つきましては、本認可について、令和 7 年 10 月 29 日（水）から同年 11 月 28 日（金）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和7年10月28日の総務省報道資料】](#) をご覧下さい。

5G & L5Gで飛躍する
MCPC
Mobile Computing Promotion Consortium

～設計構築にすぐ役に立つ～

**第7回
ローカル5G実践研修講座**
2025年12月4日(木)～12月5日(金)


 宮坂 敏樹
MCPC


 久保田 俊行
日本無線協会


 原 辰徳
NEC ネットエスアイ株式会社

第7回 ローカル5G 実践研修講座 開催のご案内

実証実験段階からいよいよ社会実装フェーズに入ってきたローカル 5G ですが、導入を考えている皆様が、設計構築しようとする際にすぐ役に立つ知識やノウハウを習得できる実践研修講座の第7回目を開催します。この講座を受講する事で、以下の導入から運用までのプロセスや最新動向、検討すべきポイントを習得することができます。

L5G 導入時の
技術要件理解

RedCap, TSN
最新動向把握

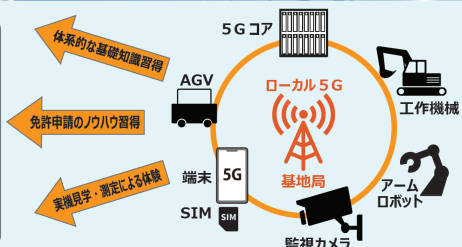
基地局導入
の流れ理解

免許申請・電波法の
理解

置局設計
システム設計

基地局7/24
の実機見学

電波環境
測定体験



【講座の特徴と講習内容】

ローカル 5G 導入検討中の方、ローカル 5G 構築のノウハウ習得を目指したい方を対象に、設計・構築に役立つ基礎知識や最新事例・最新動向、運用中のローカル 5G 機器類の見学や測定、基地局導入のイメージ明確化、電波法や電波申請手続きについて学びます。

初日は、基礎的な知識習得と事例紹介、導入までの基本的な流れの理解、基地局免許の電子申請手続き、測定法の説明を、二日目は、エリア測定やタイムスロット測定の体験、5G ラボ見学やジオラマ体験を行います。

【開催概要】 ～設計構築にすぐ役に立つ～ ローカル 5G 実践研修講座(11 時間コース)

今回の実践研修講座は、MCPC 会員の NEC ネットエスアイ株式会社様との共同開催です。

開催日: 2025 年 12 月 4 日(木) 9:00 ～ 12 月 5 日(金) 12:00 まで (1.5 日)

申込 URL: <https://ijuken.com/prod/user/mcpc-jp/public/>

申込の流れ: <https://www.mcpc-jp.org/license/entry/>

申込期間: 2025 年 10 月 1 日(水) ～ 11 月 21 日(金)

開催場所: NEC ネットエスアイ株式会社 新川崎テクニカルベース 6 階 601 研修室
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番2号

受講料: <一般> 55,000 円(税込) / <MCPC 会員> 44,000 円(税込)

※会員割引でお申込をご希望される場合は、その旨(msec@mcpc-jp.org)までメールでご連絡をお願いいたします。

申込定員: 22 名 申込み先着順 ※ 定員になり次第申込みを締め切ります。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11 階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp